

武藤類子さんが語る 福島から、あなたへ

福島原発事故前の豊かな暮らし
原発事故が奪ったしあわせ そして今・・・



プロフィール

福島県に生まれ、20年間の養護学校教員を経て、2003年から独立型のソーラーシステムを手作りし、山の恵みを提供する里山喫茶「きらら」(写真右下)をはじめ。

しかし、2011年3月11日の福島第一原発事故により廃業を余儀なくされる。

2012年よりフクシマ原発告訴団団長を務める。



里山喫茶 きらら (事故前)

子どもを外で遊ばせる、遊ばせない、食べる、食べない・・・
放射能は暮らしの中の一つ一つに入り込み、生活の場を奪ってしまった。
「私たちは見捨てられたのだ」との辛い思いからやっと
抜け出し、原発の責任を問う裁判へとこぎつけました。

日時 2018年8月18日(土) 13時30分 開場

場所 ワークプラザ勝田 多目的ホール 14時～16時 講演

参加費 500円 (学生:無料) 村上達也・元東海村長のお話もあります

*保育あり (無料:要事前申込み)

お問い合わせ

武藤類子さん講演会実行委員会
荻(080-5496-6261)、佐藤(090-5410-1336)

後援

未来への風いちから 原発事故から暮らしを守るネットワーク
憲法9条世界へ未来へー茨城県連絡会 社会の平和を考える会
さよなら原発ひたちなか市実行委員会 ふうあいねっと
生活クラブ生協茨城県央ブロック 茨城有権者の会
みんなの居場所だんらんの家

